

今回、テーマを決めてグループで具体的なビジネスモデルを作ってみる機会があり、とても勉強になる研修会になったと感じます。

自分の番だけでなく、他のグループの発表を聞いて、初めて考えるような事や、そんなビジネスモデルもいいな、と新しい発見をすることが出来ました。私の班は食品ロスに関するビジネスモデルを考え、発表に対して、協会の方々から目からウロコと言っていただけ、我々もとても満足のいく仕上がりになったと感じました。研修会の一日目には、実際に企業の方からグループ討論の中に参加して頂き、実際に業界からの視点でご意見やアドバイスをいただくことができました。ビジネスモデルを具体的に考える機会になったため、これを実際に行動に移してやることまで視野に入れて、きちんとした利益に繋がるいい案を考え出すことが出来ました。

班内で協力しながら準備を進めることによって、より友達とのグループワークが楽しく感じました。私たちの班の提案したビジネスモデルにたいして、とてもいい評価を頂いて、とても嬉しく感じ、実際にビジネスモデルを実行してみたいと思えました。

企業の方を招いて、また業界に関する新しい情報を知ることの出来る機会は大変貴重な事だと思うので、これからも私たちの次の学年でも、有意義な合同研修会になれば嬉しいと感じます。

この度は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

今回の合同研修会では各班がプラスチックごみ、食品、衣類をテーマにビジネスモデルを考えた。

プラスチックは年々生産量が多くなっている。一方で排出量も増加している。そして、プラスチックごみには再利用が難しい、効率が悪いといった問題点を持っている。コストや環境面で心配が残るプラスチックごみに対していろんな方面でのビジネスモデルが紹介された。

環境ゴミでアートを作る、刑務所で洗浄作業をといったビジネスモデルがあった。そして4Rが注目されていることをとりあげてコンパクトでデザイン性のあるエコバッグを作り、エコバッグのデザインをSNSで募集するといったものもあった。SNSはいまどきで若い人たちの意識向上につながると思った。

食品では食品ロスについて多く取り上げられた。人口増加に対する食糧不足に貢献できない、コンビニや飲食店の食品ロスが食品ロスの割合の半分以上を占めていることを知った。

ビジネスモデルとしてはデリバリーの導入。値引き。運搬中に起こる廃棄が近い商品をパーキングエリアにつなげる。大学付近に店舗を展開。アプリの開発(食品管理、家計簿、レシピが統一)などが紹介された。食品を扱うのはプラスチックごみと衣類の2つのテーマと比べて腐ってしまうといった特徴があるためビジネスモデルを考えることが難しいのではないかと考えていたが、どの班も実現しやすいプランを考えていてすごいと思った。

衣類ではファストファッションの流行により大量生産、大量消費、大量廃棄が問題につながるとあった。実際に自分もファストファッションを利用しているので実感した。

ビジネスプランとしては、3R×コーディネートでレンタル販売、学内での回収ボックスの設置、アプリとの連携。フリーマーケットの開催。などであった。どれもファストファッションを多く利用する大学生などの若者を対象にしていて、このビジネスモデルがうまくいけば衣類の環境問題を大きく改善できるのではないかと考えた。

今回の研修会で、なんの環境問題を解決するのかによって、ビジネスモデルの対象となる人や企業などの年齢層やジャンルが大きく異なると感じた。環境問題の改善とした大きな目標がある中で様々なベクトルから手を打てることが分かったので、今後は将来どのように改善作を出せるかなども考えてみたい。

今回の合同研修会でプラスチック、食品、衣類を始めとする様々な廃棄物について考える機会をいただきありがとうございました。私たちの班は食品ロスについてディベートし様々な問題点や現状についての意見を出しながら、それらの対策をビジネスとして成り立つような話し合いをしました。担当の方から今までの班より1番多くの意見があって面白いとお褒めの言葉もいただきました。ビジネスモデルを考えるにつれて、ここは矛盾してないか、ここはどう改善するのか、ここを変えてあそこはどう変えるのかなどと試行錯誤しながら考えていく様は、まるで私たちが企業に勤めて新しい事業の発足に携わるようでとても楽しかったです。私たちの班の話し合いでもうこれ以上考えは出ないだろうと思っていましたが、他の班の発表を聞いて見てこんな新しい考えがあるのかと驚きとワクワクがいっぱいでした。企業の方もおっしゃっていましたが、目から鱗とはこのことなのだと感じました。一方で少し悔しい気持ちもありました。私達の班よりも面白い考えがあるのかと思ったからです。この感覚は企業目線で考えるとライバル社から画期的な仕組みが発表された時と同じなのかなと思いました。大学生のうちにこのような素晴らしい経験ができるのは素晴らしいことなのだと噛み締め、社会人になった時に活かしたいと思いました。